



九州大学共創学部「入学者選抜概要」

九州大学は、平成30年4月に、12番目の学部として国際社会で活躍するグローバル人材を育成する学生定員105名の共創学部を設置する予定です。

新たに設置する共創学部では、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力や、主体性・多様性・協働性を持つ多様な学生を選抜するため、4つのタイプの入学者選抜を実施します。

(1) 一般入試（前期）

一般入試は、前期日程のみで実施します。大学入試センター試験と個別学力検査による選抜方法とし、個別学力検査においてはこれまで九州大学の前期日程では実施していない、小論文を実施します。

(2) 特別入試（推薦）

九州大学の入試で現在実施されていない推薦入試を実施します。高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とし、大学入試センター試験を課し、第1次選抜及び第2次選抜による選抜方法とします。

(3) 特別入試（AO）

過去17年間にわたって実施されてきた21世紀プログラムAO入試を一部見直して、共創学部AO入試として実施します。大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜による選抜方法とします。

(4) 国際型入試

国際型入試として、帰国子女入試、私費外国人留学生入試（4月入学、10月入学）を実施します。大学入試センター試験を免除し、個別学力検査等による選抜方法とします。

入学定員	選 抜 方 法		センター試験の利用	出願・選抜予定時期	
105人	一般入試（前期） 65人		○	出願：1月下旬 前期日程：2月下旬	
	特別入試（推薦） 10人		○	出願：11月中旬 1次：12月上旬～中旬 2次：1月下旬	
	特別入試（AO） 20人		—	出願：9月中旬～下旬 1次：10月上旬～中旬 2次：11月上旬	
	国際型入試 10人	特別入試（帰国子女）	若干名	—	出願：11月上旬 選抜：2月下旬
		特別入試（私費外国人4月入学）	若干名	—	出願：11月下旬 選抜：2月下旬
		特別入試（私費外国人10月入学）	若干名	—	出願：1月下旬 1次：2月中旬 2次：3月上旬

各入学者選抜の詳細については、別添の「平成30年度入学者選抜概要（予定）」に記載しています。

※ 共創学部の設置については構想中であり、内容は今後変更する場合があります。

九州大学共創学部 平成30年度入学者選抜概要（予定）

1. 募集人員

入学定員	募集人員			
	一般入試	特別入試		
	前期	AO入試	推薦入試	国際型入試
105人	65人	20人	10人	10人

2. 入学者選抜方法

(1) AO入試

AO入試として、21世紀プログラムのAO入試を一部見直して実施します。

大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜による選抜方法とします。

（見直しを行う点）

- 第2次選抜で行っていた講義に関するレポート作成について、3つの講義（文系・理系にとられずに、純学問的なもの、総合的なもの、実験的なものなど）を受講してのレポート作成から、2つの講義（文系の内容を主とするものと、理系の内容を主とするもの）を受講してのレポート作成に変更します。
- 第2次選抜で行っていたグループ討論について、提示された3つの講義の論題の内から各自2つを選択してグループ討論を行う方式から、提示された2つの講義の論題についてグループ討論を行う方式に変更します。

(2) 推薦入試

現在すべての学部で実施されていない推薦入試を、共創学部で新たに実施します。

高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とし、大学入試センター試験を課し、第1次選抜及び第2次選抜による選抜方法とします。

(3) 一般入試

一般入試として、前期日程のみで実施します。

大学入試センター試験と個別学力検査（前期）による選抜方法とします。

個別学力検査において、これまで前期日程では実施していない、小論文を実施します。

(4) 国際型入試

国際型入試として、帰国子女入試、私費外国人留学生入試（4月入学）、私費外国人留学生入試（10月入学）の3つを実施します。

大学入試センター試験を免除し、個別学力検査等による選抜方法とします。

各入学者選抜において提出を求める書類は、いわゆる学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習態度」）と「共創学部への適性」の観点から評価します。

AO入試と推薦入試では「活動歴報告書」の提出を求め、高等学校等における活動実績、活動をするために活用した「知識や技能」、その活動を通して身につけたり伸ばしたりすることのできた「能力や態度」等の観点から評価します。

また、すべての入学者選抜において、入学後の学習構想を含む「志望理由書」の提出を求め、共創学部に対する理解と適性を確認します。

3. 英語能力試験の利用

大学入試センター試験の「英語」については、英語能力試験の成績の提出を認め、提出された成績を下の「みなし基準表」にしたがって換算し、大学入試センター試験「英語」の得点として利用します。これは、推薦入試と一般入試において、希望者に対してのみ実施するものです。

利用できる英語能力試験は、次の5つとなります。

- ① 実用英語技能検定（英検）
- ② TOEFL iBT
- ③ IELTS（アカデミック・モジュール）
- ④ GTEC CBT
- ⑤ TEAP（4技能）

英語能力試験の利用を希望する者は、成績（原本のみとする。写しは不可。）一つを出願時に提出する必要があります。提出された成績に対して、下記の「みなし基準表」により、「みなし得点」が与えられます。「みなし得点」と、実際に受験した大学入試センター試験「英語」の得点を比較して、高い方の得点を査定の対象とします。出願時に提出できる英語能力試験の成績は、換算対象となる大学入試センター試験の実施日からさかのぼって過去2年以内に受験したものに限り、また、大学入試センター試験「英語」の受験が必須となります。

なお、一般入試の査定にあたっては、大学入試センター試験「英語」250点満点は100点満点に換算し、下表のみなし得点も同様の方法で換算します。

【みなし基準表】

みなし得点	*下記の英語能力試験でそれぞれの基準点をクリアした場合、右の数値を大学入試センター試験「英語」の得点とみなします	200点	225点	250点	*参考：各英語能力試験の満点は下記のとおり
みなし基準点	英検			準1級以上	1級
	TOEFL iBT	60	70	80	120
	IELTS（アカデミック・モジュール）	5.5	6	6.5	9
	GTEC CBT	1000	1100	1250	1400
	TEAP（4技能）	280	310	340	400

※ 英語能力試験の成績が「みなし基準点」を超えた場合に、当該基準点の上段の「みなし得点」を与えます。（例）TOEFL iBT のスコアが65点の場合、みなし基準点60点をクリアしているため、200点を認定します。

4. 入学者選抜方法ごとの概要

【AO入試】

募集人員	20人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、共創学部の趣旨を理解した上で、本学部での学びを強く志望し、合格した場合に必ず入学することを確約する者。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 24 年 4 月以降に卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 24 年 4 月以降に修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成 24 年 4 月以降にこれに該当する者及び平成 30 年 3 月までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 共創学部 AO 入試に出願した場合でも、本学部の推薦入試、一般入試、国際入試に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。</p> <p>(2) 九州大学の他学部で実施されるアドミッション・オフィス入試（文学部、教育学部、法学部、理学部各学科、医学部保健学科、歯学部、芸術工学部各学科、農学部）との併願はできません。</p> <p>(3) 本学部 AO 入試に出願した場合でも、本学を含む国公立大学の一般入試に出願することができます。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。</p> <p>(1) 第 1 次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。 なお、該当者は、活動歴報告書の添付資料の一つとして、英語能力試験（実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC CBT、TEAP（4 技能）等）の成績を提出することができます。</p> <p>(2) 第 2 次選抜 第 1 次選抜の合格者に対し、講義に関するレポート、討論、小論文及び面接を課し、提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。 なお、レポート及び小論文において、一部英語による記述を求める場合があります。</p> <p>【選抜の流れ】</p> <p>(1) 第 1 次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第 2 次選抜 第 2 次選抜は、第 1 次選抜の合格者に対し、講義に関するレポート、討論、小論文及び面接を課し、提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を 2 日間にわたって行います。 〈第 1 日目〉受験者は、2 つの講義（文系の内容を主とするものと理系の内容を主とするもの）を受講し、その講義に関するレポートをそれぞれ作成します。 〈第 2 日目〉午前：前日に受講した 2 つの講義の論題について討論を行います。</p>

九州大学共創学部 平成 30 年度入学者選抜概要（予定）

	<p>討論は、グループ（1 グループ 12～14 人）に分け、グループで論 題ごとに討論を行います。</p> <p>午後：小論文は、講義・レポートと討論を踏まえて、提示された いずれかの講義の論題に関連した標題を自ら設定し、作成します。</p> <p>面接（個人面接）は、小論文を作成している間に行います。</p>
出願期間	平成 29 年 9 月中旬～下旬
選抜期日	平成 29 年 10 月上旬～中旬 第 1 次選抜 平成 29 年 11 月上旬 第 2 次選抜
合格発表	平成 29 年 11 月下旬

【推薦入試】

募集人員	10人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者とします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 共創学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者 (2) 共創学部が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目を受験する者 (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者 (注意)</p> <p>(1) 指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目は、国語、数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、外国語（英語（リスニングを含む。））です。 (2) 出願書類は、高等学校等の長の責任のもと、提出してください。 (3) 共創学部推薦入試に出願する場合でも、本学部のAO入試、一般入試、国際型入試に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。 (4) 九州大学の他学部で実施されるアドミッション・オフィス入試（文学部、教育学部、法学部、理学部各学科、医学部保健学科、歯学部、芸術工学部各学科、農学部）との併願はできません。 (5) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。 (6) 本学部の推薦入試に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般入試に出願することができます。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を課し、第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーションと面接を課し、大学入試センター試験の成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>なお、指定した英語能力試験（注）の成績（原本とする。写し不可）を提出した者については、所定の基準にしたがって、大学入試センター試験の英語の点数に換算し、大学入試センター試験の英語の得点と英語能力試験の換算値を比較して、高い方の得点を査定の対象とします。</p> <p>（注意）英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。 実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC CBT、TEAP（4技能）</p>

	<p>【選抜の流れ】</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーションと面接を課し、大学入試センター試験の成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。プレゼンテーションに用いる資料は、「募集要項」で指定したものに限りません。</p>
出願期間	平成29年11月中旬
選抜期日	平成29年12月上旬～中旬 第1次選抜 平成30年1月下旬 第2次選抜
合格発表	平成30年2月上旬

【一般入試】

募集人員	65人										
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、共創学部が指定する平成 30 年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者</p> <p>(3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>ア. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日まで修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日まで修了見込みの者</p> <p>ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日まで修了見込みの者</p> <p>エ. 文部科学大臣の指定した者</p> <p>オ. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）及び平成 30 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 上記(3)カにより出願する者は、事前に受験資格の審査を受けなければならない。</p>										
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、個別学力検査（前期）の成績及び調査書、志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2段階選抜)</p> <p>入学志願者が募集人員を大幅に上回り、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合（募集人員の約 4 倍を超える場合）は、大学入試センター試験の成績（素点）の総点により第 1 段階の選抜を行い、その合格者に対して第 2 段階の選抜として個別学力検査等を行います。</p> <p>(英語能力試験の利用)</p> <p>指定した英語能力試験（注）の成績（原本とする。写し不可）を提出した者については、所定の基準にしたがって、大学入試センター試験の英語の点数に換算し、大学入試センター試験の英語の得点と英語能力試験の換算値を比較して、高い方の得点を査定の対象とします。</p> <p>(注意) 英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。</p> <p>実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC CBT、TEAP（4 技能）</p> <p>(1) 大学入試センター試験で指定する教科・科目及び配点</p> <table border="1" data-bbox="395 1854 1369 2000"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の出題教科・科目</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地理歴史及び公民</td> <td>「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「倫理、政治経済」から 1 または 2 科目を下記のパターンに従って</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>		大学入試センター試験の出題教科・科目		配点	国語	国語	100	地理歴史及び公民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「倫理、政治経済」から 1 または 2 科目を下記のパターンに従って	200
大学入試センター試験の出題教科・科目		配点									
国語	国語	100									
地理歴史及び公民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」「倫理、政治経済」から 1 または 2 科目を下記のパターンに従って	200									

		選択													
理科		「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1～3 科目を下のパターンに従って選択													
数学		「数Ⅰ・数A」必須、「数Ⅱ・数B」「簿記・会計」 「情報関係基礎」から1科目を選択	100												
外国語		「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国 語」から1科目を選択	100												
<p>(注意)</p> <p>(1) 各教科の成績は、100点満点に換算して利用します。ただし、「地理歴史及び公民」及び「理科」の成績は、合計点を200点満点に換算して利用します。</p> <p>(2) 「英語」は、リスニングの成績も利用します。ただし、大学入試センター試験において、リスニングを免除された重度難聴者については、筆記試験の成績のみを利用します。</p> <p>(3) 「地理歴史及び公民」及び「理科」の選択については、次の4つのパターンから選択することができます。</p> <p>① 「地理歴史及び公民」から2科目、「理科基礎」から2科目</p> <p>② 「地理歴史及び公民」から2科目、「理科」から1科目</p> <p>③ 「地理歴史及び公民」から1科目、「理科基礎」から2科目、「理科」から1科目 (理科は同一名称を含む科目の組合せも可)</p> <p>④ 「地理歴史及び公民」から1科目、「理科」から2科目</p> <p>(2) 前期日程の個別学力検査の実施教科・科目等及び配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施教科・科目等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全範囲と数学Bの数値・ベクトル</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>小論文</td> <td>小論文</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注意) 後期日程での募集は行いません。</p>				実施教科・科目等		配点	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全範囲と数学Bの数値・ベクトル	300	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ	400	小論文	小論文	300
実施教科・科目等		配点													
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全範囲と数学Bの数値・ベクトル	300													
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ	400													
小論文	小論文	300													
出願期間	平成30年1月下旬														
選抜期日	平成30年2月下旬														
合格発表	平成30年3月上旬														

【国際型入試：帰国子女入試】

募集人員	若干名						
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者ととも海外に在住（原則1年以上）した者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者としてします。</p> <p>(1) 外国において学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者のうち、最終の学年を含めて 2 年以上継続して外国における学校教育を受けているもの</p> <p>（注意）外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>また、インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、出願が認められない場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成 28 年及び平成 29 年に外国において取得した者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又は英国において大学入学資格として認められている GCE-A レベル資格を平成 28 年及び平成 29 年に外国において取得した者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p>						
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、個別学力検査、面接及び志望理由書（日本語）を含む出願書類の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(1) 個別学力検査の実施教科・科目</p> <table border="1" data-bbox="395 1160 1259 1317"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施教科・科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A の全範囲と数学 B の数列・ベクトル</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注意） 面接に際しては、基礎的な学力について試験を行うことがあります。</p>	実施教科・科目		数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A の全範囲と数学 B の数列・ベクトル	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ
実施教科・科目							
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A の全範囲と数学 B の数列・ベクトル						
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ						
出願期間	平成 29 年 11 月上旬						
選抜期日	平成 30 年 2 月下旬						
合格発表	平成 30 年 3 月上旬						

【国際型入試：私費外国人留学生入試（4月入学）】

募集人員	若干名
出願要件	<p>次の(1)～(5)のすべてに該当する者としてします。</p> <p>(1) 日本国以外の国籍を有する者</p> <p>(2) 日本国の永住許可を受けていない者</p> <p>(3) 次の①～⑥のいずれかに該当する者</p> <p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日まで修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもので平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>③外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>④外国において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑤外国において、英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑥本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(4) 独立行政法人日本学生支援機構が実施（海外実施を含む。）する平成28年度又は平成29年度の第1回又は第2回日本留学試験の本学部が指定する教科・科目（注）を受験した者</p> <p>（注意）共創学部で指定する日本留学試験の教科・科目は、「日本語・総合科目・数学コース1」又は「日本語・数学コース2・理科（2科目）」のいずれか。</p> <p>※上記(3)⑥により出願する者は、事前に受験資格の審査を受けなければならない。</p>
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、TOEFL、IELTS（アカデミック・モジュール）またはケンブリッジ英検（FCE、CAEまたはCPE）のいずれかの成績、平成29年度の第1回又は第2回日本留学試験の本学部が指定する教科・科目の成績、本学において実施する日本語試験（読解、記述、聴解）の成績及び面接並びに志望理由書（日本語）を含む出願書類の総合評価により選抜を行います。</p> <p>（注意） 面接に際しては、基礎的な学力について試験を行うことがあります。</p>
出願期間	平成29年11月下旬
選抜期日	平成30年2月下旬
合格発表	平成30年3月上旬

【国際型入試：私費外国人留学生入試（10月入学）】

募集人員	若干名
出願要件	<p>次の(1)及び(2)に該当する者とします。</p> <p>(1) 日本国以外の国籍を有する者</p> <p>(2) 次のいずれかに該当する者</p> <p>①外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 30 年 9 月 30 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者又は平成 30 年 9 月 30 日までに有する見込みの者で、平成 30 年 9 月 30 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>③外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者又は平成 30 年 9 月 30 日までに有する見込みの者で、平成 30 年 9 月 30 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>④外国において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者又は平成 30 年 9 月 30 日までに有する見込みの者で、平成 30 年 9 月 30 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>⑤外国において、英国において大学入学資格として認められている GCE-A レベル資格を有する者又は平成 30 年 9 月 30 日までに有する見込みの者で、平成 30 年 9 月 30 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>⑥文部科学大臣の指定した日本国内のインターナショナルスクールを修了した者又は平成 30 年 9 月 30 日までに修了する見込みの者で、平成 30 年 9 月 30 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>⑦本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 9 月 30 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>※上記(2)⑦により出願する者は、事前に受験資格の審査を受けなければならない。</p>
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、第一次試験及び第二次試験により行います。</p> <p>(1) 第 1 次選抜 提出された志望理由書（英語）を含む出願書類の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(1) 入学資格を証明する書類等（高校の成績証明書等、高校の卒業（見込み）証明書等、国際バカロレア等資格、九州大学受験資格認定書）</p> <p>(2) 志望理由書（英語）</p> <p>(3) 以下のうち、いずれか一つの統一試験成績表</p> <p>①SAT Subject Tests</p> <p>②GCE-AS レベル、もしくは IAL-A/AS レベル</p> <p>③国際バカロレア資格（英語で取得）</p> <p>④国際バカロレア資格（フランス語又はスペイン語で取得）及び英語能力試験（注）</p> <p>⑤日本留学試験及び英語能力試験（注）</p> <p>⑥韓国の大学入学資格に関する統一試験及び英語能力試験（注）</p> <p>⑦台湾の大学入学資格に関する統一試験及び英語能力試験（注）</p> <p>⑧（中華人民共和国在住者のみ）英語能力試験（注）</p> <p>（注意）英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。 TOEFL、TOEIC、IELTS（アカデミック・モジュール）、ケンブリッジ英検（FCE、CAE または CPE）</p>

九州大学共創学部 平成 30 年度入学者選抜概要（予定）

	(2) 第2次選抜	第1次試験の合格者に対して、面接を課し、提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。 また、面接に際しては、基礎的な学力について試験を行うことがあります。 なお、面接は原則として、出願者が居住する国で行います。 現地面接が困難な場合は、電話、遠隔会議装置などを利用して面接を実施します。
出願期間	平成30年1月下旬	
選抜期日	平成30年2月中旬 平成30年3月上旬	第1次選抜 第2次選抜
合格発表	平成30年3月下旬	